

5 学年 理科「川と災害」顛末

令和2年1月17日

教務部教育計画係

1 日時・場所

日時	令和元年 11月7日(木) 5校時	場所	智恵文小学校 図工室
----	----------------------	----	------------

2 学年・活動・目標

学年	5 学年 (5 学年 7 名)
教科・領域 単元	5 学年：理科「川と災害」
目標	川による災害とその対策について調べ、生命に与える影響の大きさを感じるとともに、対策の必要性を捉える。
評価	川の氾濫や洪水という自然の大きさを実感するとともに、その対策について自分の生活に当てはめて考えようとする。 増水した川は土地を大きく変化させ、洪水などの災害をもたらす場合があること、また、その災害を防ぐための工夫や取組がされていることを理解している。

3 講師・地域連携機関・内容等

講師	北海道博物館 青柳 かつら 智恵文中央老人クラブ
内容	「天塩川と智恵文」(昭和30年の水害を中心に紹介)

4 当日までの日程

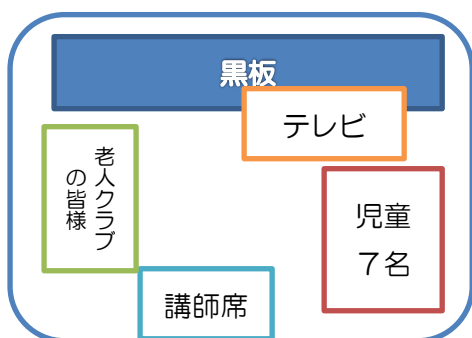
	学校(窓口・担当者)	地域のコーディネーター
9月	学校長とコーディネーターによる打合せ ・敬老会の時期 ・教育課程の確認	
下旬 ~ 10月	学校長とコーディネーターによる打合せ ・教育課程との整合性を点検 ・校長と教頭での内容の点検と共有 ・校長と地域コーディネーターによる、実施の有無と規模、該当する教科、領域の決定	
	・窓口(教頭)より地域連携担当へ連絡 ・担当は教育課程と地域の企画を確認 ・担当と担任が打合せ ・職員会議で周知	

11月	<ul style="list-style-type: none"> ○教頭とコーディネーターによる打合せ <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程との整合性を点検 ○校長と教頭での内容の点検と共有 ○教頭と地域コーディネーターによる、実施の有無と規模、該当する教科、領域の決定
当日	当日
後日	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議で全職員によるふり返りと次年度に向けての検証 ・児童は学習のふり返りを行う。

5 当日の学習の様子

時間	担任（学校）	児童（学習活動）	講師・地域連携機関等
12:40	あいさつ 講師紹介（教頭） 学習課題	あいさつ 講師・学習の課題を知る。	あいさつ
12:45	<ul style="list-style-type: none"> ○講師による映像・説明 <ul style="list-style-type: none"> ・天塩川の恵み ・川の流れとはたらき ・智恵文の地名のゆらい ・天塩川の水害 ・映像「昭和30年7月3日水害状況」（土別市博物館所蔵）の視聴など ○智恵文中央老人クラブの方のお話 		
13:20	学習のまとめ	学習のまとめをする。 （まとめの発表2人程度）	
13:25	あいさつ	あいさつ	あいさつ

6 会場図



- ・テレビ1台（図工室にあるもの）
- ・延長コード（延長ドラム）
- ・老人クラブの方のイス（スタッキングチェア）
- ・講師席（パソコン操作用機とイス）
- ・老人クラブの方の飲み物（湯飲み・お茶）

7 実施後

○川による災害について、昔の智恵文地区での水害や天塩川と関連した身近な事例を基に、考えることができた。

○自分たちの住んでいる智恵文地区のくらしを水害から守るために、天塩川の切り替え工事を実施したり、ハザードマップが作成されたりすることを学ぶことができた。

*児童のノートより

- ・昔の人は、災害があっても協力して堤防をつくったりしていたのが分かった。
- ・智恵文沼は、水害からくらしを守るため、切り替え工事をきっかけにできた。
- ・川による災害は、大きな水害で、その対策は、智恵文沼の切り替え工事やハザードマップなどがある。そして、水害に備えておくことが大切。

